

松島町教育委員会会議事録（令和7年4月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和7年4月25日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 302会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、櫻井智恵委員
- 4 説明のため出席した者
蜂谷文也教育次長兼課長、松村武文学学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、越野博之学校給食センター所長、永沼昌一教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 令和7年4月25日（金曜日）午前9時30分 開会（録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 鈴木委員・佐藤委員
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 令和7年度松島町学校運営協議会委員の任命について
 - (4) 松島町奨学金貸与事業運営委員の委嘱について
 - (5) 松島町公民館分館長の委嘱について
 5. 議事
 - 議案第1号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）について
 - 議案第2号 松島町社会教育委員の委嘱（案）について
 - 議案第3号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱（案）について
 6. 協議事項
 - (1) 令和7年5月定例会について
日程案：令和7年5月30日（金）午前9時30分 松島町役場3階 302会議室
 7. その他
学校経営方針に係る意見交換会について
日程案：令和7年5月30日（金）午前10時30分 松島町役場3階 大会議室
 8. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕では、お時間となりましたので、ただいまより松島町教育委員会令和7年4月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕皆さん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

ダイエットのために昼間だったり夕方だったり散歩をしていて、鈴木邸の前を通ると、こいのぼりが泳いでいます。結構、散歩をして歩いたり、車で動いていても、こいのぼりは今ほとんど立っていませんで、鈴木先生のおうちのこいのぼりを見て、男の子がいるんだなあという形で見えています。

あつという間に4月が終わって、こいのぼりですから5月なのですけど、うちでも3月3日のひな祭り、出したかと思うと片づけて、片づけたと思ったらこいのぼりかきみみたいな感じですが、あつという間に学校のほうも4月が終わります。それから、来週から飛び石連休ということで、新しくおいでになった一小的校長先生や、それから、二小的校長先生もなじんでうまく学校にはまっていますし、一番心配していた松島第五小学校の複式学級も上手に運営しており、ほっとしているところです。

教育委員会のほうは、先ほど紹介あった越野給食センター所長さんが新しくおいでになったので、また、給食のほうをうまくコントロールしていただくとということになります。

それから、5月13日、14日と台湾のほうから交流で来て、所長さんには早速で迷惑かけますけど、17人分の給食をプラスアルファするというような形になっていきますので、また、今年度もどうぞよろしくをお願いします。

また、松島第五幼稚園、読書関係で文部科学大臣から表彰を受けました。第五幼稚園の売りは、絵本をおうちに持ち帰って読ませることを可とするということで、絵本のダメージはあるんですけど、うちに持って帰ると。だけど、それを超えてまで子どもたちに活字になれ親しませたいということで、何と透かし入りの賞状で、これを額に入れて玄関の前あたりにどんと飾っておきたいと。このベースがあるから、松島第五小学校は多分、国語の学力が高いのではないかと思います。同じことを第一幼稚園でもしていますので、来年は第一幼稚園を申請してみようかなと思っていますところでございます。そういうわけで、大変名誉ある賞をいただきました。私が、東京で教育者功労賞をもらったのと同じ大きさで、同じ文部科学大臣で、すごいなと思いながら見ておりましたので、どうぞ、ちょっとした自慢じゃなくて大きな自慢ですので、教育委員さんのほうも評価していただければありがたいなと思います。

後でまた、いろいろ紹介があるかもしれませんが、今日もよろしくをお願いします。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、3月臨時会及び定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

定例会終了後に署名をお願いします。

3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は鈴木委員と佐藤委員を指名させていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

1番、一般事務報告について。

報告の前に資料の訂正をお願いしたいと思います。26ページになりまして、松島町学校給食センター運営審議会委員（案）の5番の方の備考部分、再任となっておりますが、こちら新任でございましたので、訂正いただきますようお願いいたします。

では、初めに、学校教育班から報告をお願いいたします。

〔松村班長〕それでは、資料の1ページになります。

行事報告からご説明いたします。

3月24日、町内各幼稚園、各小学校、中学校で修了式が実施され、翌25日から4月7日まで14日間、学年末及び学

年初め休業日となりました。

なお、事故等なく、4月8日の始業式を迎えております。

3月28日、教職員離任式が、4月2日、教職員宣誓式が役場大会議室で開催されました。

4月8日、町内各幼稚園、各小学校、中学校で始業式が行われました。

9日、町内各幼稚園、各小学校、中学校で、それぞれ入園式及び入学式が開催され、第一幼稚園は8名、第五幼稚園は1名が入園し、第一小学校は52名、第二小学校は14名、第五小学校は6名、松島中学校は75名が入学しております。

10日、第1回仙台管内教育委員会教育長会議が仙台合同庁舎で開催され、教育長が出席しております。

11日、全国町村教育長会第1回理事会が東京都で開催され、教育長が出席しております。

17日、令和7年度全国学力・学習状況調査が小学6年生及び中学3年生の全児童生徒を対象に実施されました。調査科目は国語、算数または数学、理科となっております。

行事報告につきましては以上です。

2ページをお開き願います。

引き続き、行事予定につきまして、主なものをご説明いたします。

5月2日、教育長が会長に就任しております宮城県町村教育長会の令和7年度定期総会・研修会が開催予定です。

13日火曜日から14日水曜日にかけて、全国町村教育長会定期総会研究大会が東京都で開催予定であり、教育長が出席予定です。

また、13日火曜日から15日木曜日にかけて、中学校3年生が東京方面に修学旅行を予定しております。

17日土曜日、各小学校で運動会が開催予定です。

20日火曜日から21日水曜日にかけて、東北町村教育長連絡協議会の役員会・定期総会・研究大会が秋田県大潟村で開催され、教育長が協議会の理事として参加予定となっております。

30日金曜日、教育委員会定例会後に学校経営方針に係る意見交換交換会が予定されており、本日配付させていただきました資料を基に、各小学校及び中学校校長より学校経営方針に係る説明等が予定されております。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕 続きまして、学校給食センターから報告をお願いいたします。

〔越野所長〕 学校給食センターになります。

まず、行事報告になります。

3月21日に令和6年度の給食提供を終了いたしまして、4月10日には小中学校、4月15日には幼稚園の令和7年度の給食が開始されておまして、これまで問題なく提供できているところでございます。

次に、行事予定になります。

5月中旬に今年度第1回目の学校給食担当者会議、こちらを予定しておるところでございます。

学校給食センターは以上となります。

〔金津主査〕 ありがとうございました。

では、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

私、中学校75名の入学式に参加させていただきまして、生徒たちの姿、とてもすばらしかったと思います。入場から着席、そして、その式の中での様子といいますか、そういったところがとてもすばらしい。これは、各小学校でしっかり子どもたち、生徒たちを育てていただいたと同時に、入学したときに中学校の先生方もその所作ということに関してきちっと事前に何かしらのお話をさせていただいたことが、確実にやはり姿として、こちらの見ている側として、成長しているな、うれしいなという気持ちになりました。いろいろご尽力いただいた皆様に感謝いたします。

3点お話しさせていただいて、1点質問させていただきます。

1点目が、目を見て聞いているというところがとてもすばらしいというところ、例えば一小の交通安全教室も、子どもたちですが友達が質問か何かしているときに体の向きを変えてしっかりお友達の発表を聞いている様子、それから、読み聞かせとかそういったところでも子どもたちがしっかり聞いている様子が見られましたので、これは日々の先生方がしっかり子どもたちにとってどういった姿が大切なのかをご指導いただいているたまものと思います。

2点目は、幼保小連携の取組がなされていて、一小さんですが、こども園とか幼稚園、保育所の先生方が参観している様子、スタートカリキュラムの様子を参観されたというところが、既にきちんと計画的に動かれていると。永沼先生中心に、いろいろ本当に計画的に実際の動きとして

行動されていることがとてもすばらしいと思いました。

3点目です。中学校のホームページ拝見したときに、協働的な学びと、それから、タブレットの活用をされていました。これは2年生の自主研修の計画というところの様子だったのですけれども、自分たちで3人から5人ぐらいのグループ、まさに協働的学びの中で、かつタブレットを使ってICTの活用というところがとてもいいなど。確実に大切な、文科省のほうで提示している大切なことを実践なさっている様子がとてもいいなと思いました。

最後、1点質問ですが、全国学力・学習状況調査で、今回、中学校の理科がCBTを使うというところがありました。初めての試みなので、その点についてはどういう様子だったのか、お聞きになっていることがあればお聞かせ願えればと。多分、ホームページにも特に出ていなかったもので、スムーズだったのかなというふうには思うのですが、何か今の段階で情報があればお教えいただければと思います。

蜂谷教育次長
兼課長

事前に会場に行き見ていたわけではないのですが、大分前から教育事務所を通して、CBTのやり方、こうやってやりますよという丁寧な説明があったので、特に問題があったという報告もないような状況だと思います。今後それが全体的に広がっていくのかと思いますので、教育委員会としては、速度が遅くなって自分ではできなかったとか、そういう環境にならないように環境向上に努めていきたいなと考えておりました。

内海教育長

私もちょっと行って見たいなと思ったのですが、行く機会がなかったものの、校長から特にトラブルがあったという報告はなかったもので、順調だったと認識しております。

英語の場合だと、過去において聞き取りにくいとかあったのですが、今回はそういうことがなかったもので、つつがなくやれたのではないかと。

佐藤委員

あとは、問題、どのぐらいの点数が上がるかと。そこに落としどころがあると思います。

まず、環境として整えていくというのが重要かと思えますし、28年度には小学校のほうまでというのは予定されているようなので、そこのところは引き続きよろしくお願ひしたいと思えます。

以上です。

櫻井委員

感想になってしまうのですが、4月19日に中学校の授業参観に行ってきました。2、3年生が3クラスから2クラスになるということで、40人学級になるので、どんなものかなと思って心配していたところ、予想していたとおり狭いです。親はなかなか入れないところもあって、そちらは先生方もすごく考慮していただいていたので。

ただ、先生方自身の話の中で、すごく大変そうだなと思ったところが何個かあって、人数が1.5倍になるので、一人一人に目を配れないのではないかと心配があるみたいなことをおっしゃっていて、その中でも工夫して、交換日記ではないですけど、コメントみたいなものを多く書いているとおっしゃっていた先生もいたので、すごくありがたいなと思いました。

子どもたち自身はというと、すごく前向きに捉えており、友達近いからいいよねみたいなこととか、そういう話をしていたみたいなので、安心しましたという感想です。

以上です。

内海教育長

元々狭い中で、タブレットを使う関係で机も大きくなっています。なので、机も大きいし、人数も大きいので、それは相当大変だと思うんですけども、うまく中学校でもコミュニケーション、疎遠にならないようにやっていくようにしていると思うのですが、そういう声があったことは伝えておきますので、ありがとうございます。

〔金津主査〕 それでは、続けさせていただきます。生涯学習班から報告をお願いします。

〔齋藤班長〕 それでは、続きまして、生涯学習班の主な行事報告について説明いたします。

資料のほうは4ページをご覧ください。

4月15日に第1回松島まると学推進委員会議を文化観光交流館で開催しました。担当者間で松島まると学の目的や有効性を確認するとともに、日程などを話し合っております。

次に、4月22日に第52回東北総合スポーツ大会宮城県実行委員会設立総会が宮城県庁で開催されました。本大会は、今年度8月の21日から24日までの4日間にわたり、宮城県内各地で各競技が開催され、松島町は、利府町と合同でサッカー会場となっております。

続きまして、行事予定について説明させていただきます。

5月12日に松島町女性団体連絡協議会総会を開催します。松島町婦人会ほか5団体で構成される協議会の令和6

年度の収支報告、令和7年度事業計画等の協議などを行う予定としております。

次に、16日に第1回松島町スポーツ推進会議を文化観光交流館で開催します。今年度の事業計画説明のほか、スポーツ推進員1名が退任の意向を示しているため、新たな委員に対し委嘱状の交付を行う予定としております。

次に、23日に青少年健全育成松島町民会議総会を開催します。令和6年度事業報告、令和7年度収支予算案協議のほか、任期満了に伴う役員改選が行われることとなっております。

次に、26日に第1回松島町社会教育委員の会議を開催します。今年度の社会教育委員の活動予定や社会教育団体への補助金交付などの報告・協議を行う予定としております。そのほか、任期満了に伴う社会教育委員の委嘱につきましては、後ほど議事として提案させていただき、教育委員皆様の承認を経て委嘱状を交付する予定となっております。

生涯学習班の行事報告及び行事予定については以上となります。

〔金津主査〕 続いて、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕 町史編さん室の資料は5ページになります。

まず、行事報告です。

3月24日月曜日、令和6年度第2回松島町文化財保護委員会を開催いたしました。こちらは、令和6年度の事業報告と修理要望のあった町の指定文化財であります富山観音の仁王像及び国宝瑞巖寺本堂の墨絵の障壁画についての視察を行っております。

続いて、行事予定です。

5月16日金曜日に第1回の町史編さん委員会を予定しております。こちらは、先ほどの文化財保護委員会にプラスして3名の学識経験者の方を加えた編さん委員会でありまして、そちらで町史の進捗状況について報告する予定としております。

以上です。

〔金津主査〕 続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕 公民館の資料は6ページになります。

行事報告から説明させていただきます。

年度末から年度始めにかけて、各種公民館で行われました教室、講座がめじろ押しとなっております。

そのほか、4月5日につきましては、第1回松島町分館長会議がございまして、新たな分館長さん方が勢ぞろいした形となっております。

さらに、昨日ですけれども、6月に予定しております第63回町民ふれあいスポーツ大会の開催につきまして、分館長ほか監督などが集まりまして、いろいろ協議を重ねて準備を行っております。

次に、行事予定になりますが、5月の18日、陸上自衛隊の町民ふれあいコンサートということで、今日、仮のプログラムができてきましたので、皆さんのお手元にお配りしておりますけれども、今年も松島中学校の吹奏楽部のほうに自衛隊の音楽隊のほうでパートごとの楽器指導を午前中に行っていたことになるようになりました。午前中にリハーサルの合間を割いていただいて指導していただいて、午後に音楽隊の演奏の前になりますけれども、歓迎演奏という形で中学校の吹奏楽部、演奏披露という形を取ったような形になっています。中身につきましては、昨年と曲目も変わっておりますので、もし皆さんお時間ありましたら、ぜひご覧いただけたらと思います。入場整理券につきましては、多少まだ幾らかは余っておりますので、もしよろしかったらお声がけください。

以上でございます。

〔金津主査〕 それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館等の報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

まず、生涯学習班さんのほうに質問です。

まるごと学の推進委員会が4月15日に開催されましたけれども、こちら参加された方から何かご意見等ございましたらお教えいただければというのが1点目です。

それから、公民館さんのほうは感想を述べさせていただきますけれども、町民の森で桜とチューリップとてもきれいに映っていて、あとは上から見たらハートの形の石であったりとか、そういったところが、町民の皆様のために環境を整えていただいているなということで感謝しているところです。

それから、今回、陸上自衛隊の方々が松中の吹奏楽部のほうを指導されるということで、そういう機会もなかなかないと思いますので、とても貴重な機会を企画していただきましてありがとうございます。

- 以上でございます。
- 齋藤班長 まず、まるごと学のほうにつきまして、現在、担当の教員の方々、人事異動がなくて替わらなかったのも、話は通じるというか、お互いに共通認識は持っていたのですけれども、まるごと学はあくまで学年ごとに行いますので、その学年の先生にうまくまるごと学的重要性だったり大切さを伝えましょうということで、そこは確認をしたところです。
- 佐藤委員 ありがとうございます。
- 本当に再三申し上げているのですが、まるごと学は本当に素晴らしい企画ですので、なかなかほかの市町村にはないタイプの企画で、教育委員会さんも関わっていただきながらやって、学校単独だとなかなか難しいところがありますので、これからもぜひいろいろなご意見を吸い上げていただきまして、運営していただければと思います。よろしくお願いたします。ありがとうございます。
- 小澤委員 3つほどあるのですが、1つはお礼なのですが、日本造園学会という学会の東北支部があり、今その幹事をやっていますが、今年度、造園学会の東北支部では松島の景観を研修対象として考えています。その事前の下見ということで4月12日に松島町内を回って、そのとき直前でしたが、森田室長に、急遽ご足労いただきまして、今回、ご依頼状がなくてご無礼したのですが、研修日程が決まりましたらまたご相談させていただければと思います。
- 2点目は、松島町の産業観光課から私の大学の研究室に依頼があり、東京の富士見高校という女子高生90名ぐらいが松島に来て、それで勉強する。それから、大学生といろいろ交流したいということで20人ぐらい、5月9日の金曜日に対応予定です。その下見を先日24日にやったときに、産業観光課の観光班長と職員の方に対応していただいて、それで、宮城大学生は松島をあまりよく分かってないのですね。松島、遊びに来る学生はいるのですが、分かってなくて、それで、東京の高校生が来たときに、学生との触れ合いという形ですが、最低限松島のことを聞かれたときに何て答えようかというところの悩みがありまして、これは教育班なのか、生涯学習班なのか、松島の簡単な冊子があれば、1つお借りできれば学生で勉強したいと思いますので、ということが1つです。
- 最後は公民館で、例えば夜桜を見ようとか、春満喫ウォーキング、この春満喫ウォーキングは8日でしたから、私は授業があつて出られず、13日の夜桜も何か宴会があつて出られなかったのですが、松島の広報でご案内がありましたが、例えば、町に新しく外から入ってきた世帯も結構あると思うので、例えば、折に触れ、メールニュースとか、そういうものを作っていらっしゃるようであれば便利かなと思ったり、すぐ忘れてしまうので、そういうものがあるかなと思ったのですが、もしそういうのをやっていらっしゃるようであれば登録しようと思います。
- 以上です。
- 内海教育長 町についての観光一括でというのは、産業観光課のほうで修学旅行者向けの冊子を作っていますので、それが一番、そんなに厚くないので、帰り際に差し上げます。
- あと、うちには「わたしたちまち」なんて、3、4年生で使う厚いのあるのですが、それはちょっと（「それは前に頂きました」の声あり）
- それ以外のものは森田室長さんをお願いします。

(2) 教育長報告

〔金津主査〕では、続けさせていただきます。(2) 番、教育長報告について、お願いします。

〔内海教育長〕私のほうから報告させていただくというよりは、お話しさせていただきたいのですが、まず、この学校経営方針、これを差し上げておいたのですが、5月30日に意見交換をするということで、なぜ学校経営方針を出すようになったかということをお話ししておきます。

コミュニティ・スクールの委員と学校経営をする校長が同等のレベルになり、コミュニティ・スクールの委員の人たちが承認しないとこの基本計画がスタートしないというような形になりましたので、それで学校の基本方針を示して理解してもらって、1年間こういうのをやって頑張りますよという、つまり宣誓書みたいなものです。まだ学校によってはコミュニティ・スクールをやっていないところもあるのですが、ほぼほぼこの内容でいくのではないかなと思ってあえて出しました。5月30日まで委員の皆さんに見ていただいて、こういうところをどうするんだろうな、ああいうところをどうするんだろうなと思って、思いをはせていただければと思います。

校長先生によっては、新しく来た一小的校長先生、二小的校長先生は、こういうのを書いたことがないので、

なかなかまとめるのに苦慮したみたいです。そしてまた、教育委員さんと意見交換をするというのは他の市町村ではないので、これもまた初体験で、経営方針を書き、教育委員さんとやり取りをするということになると、本当に新しく来た人は真剣勝負にならざるを得ない。それぐらい重みのあるものです。

また、評価しやすいように、あえて数値目標にしておきました。それでもって評価してもらおうと。

学校の教育というと、よく例えに出すのですが、転んだときに先生が抱っこしてあげて、膝に血がにじんだら、それを水で洗ってというのは、どこにも数値目標がありません。鼻をたらしめている子の鼻をかんであげるとか、拭いてあげる、それも数値目標には出てきません。それから、ごみが廊下に落ちていたら、そっと拾ってごみ箱に捨てている先生もよく見かけます。そういうのは数値としては出ませんが、学校の校長先生にはそういう方々もしっかり評価してくださいねと。ただ、表に出すときには評価しやすいように数値で出しますよと。

例えば、第一小学校の資料をご覧ください。

黄色で書いているのは82%、単元テスト4教科の平均、各教科の平均が82%。結構高い率です。どの子もテストもらったら82点以上は取って、平均取れるようにと、レベルが高いと。これが3月31日まで行かなければ、どうなのという話になります。

それから、標準学力調査、下のものをご覧ください。学力テストより実は標準学力検査のほうが難しいので、基礎学力ですから、これを全国平均を目指すということで、なかなか大変な、こんなの書いていいのかなと思っただけなのですが、やるということなので、結果を楽しみにしているところです。

また、一小では、いじめが昨年もなかったので、いじめを今年もゼロにしていきたいと言っておりました。

二小をご覧ください。二小は新任の校長先生でございます。

子どもによる授業評価。授業は分かりましたかと。肯定的回答を85%、これも難易度高いと思います。授業評価ですから、子どもが先生をチェックする、先生の通信簿をつける、それで全員が85を目指すというのは、佐藤委員はよく分かると思うのですが、85はなかなか厳しい数字だと思います。

それから、標準学力検査、全国平均と出ていますね。

それから、これも結構厳しいかもしれませんが、2番「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答90%以上です。先生はあなたのところはいいと思っているよ、頑張れよっていうような感じで受けた子どもたちは、先生、俺のこと評価してくれるというので、アンケート取って90%以上になると。これも難易度高いかなあとと思います。新任の校長先生がどこまで頑張れるか楽しみにしております。

それから、五小をご覧ください。

五小はやっぱり1の(2)です。複式学級の学習スタイルの確立と校内研究の充実における指導力の向上ということで、複式学級については昨年からは何回も校長先生、検討しました。それでうまく具合に流れています。見ていて私もいいなあと思ながら。

それから、松五小は学力が高いというようなことを言ってきました。それは幼稚園における読書とか、国語は断トツです。そういう下地があるのだけれども、複式になって下がったということがないように、校内研修の充実も力入れたいなど。

それから、2番の(3)ですね。取組方法まで考えた「めあて(目標)」を設定して、取組過程も称賛し、あきらめず取り組む意欲の維持向上。つまり、途中で投げ出さずに最後までやると。仮に結果が伴わなくても、ファイティングポーズは常にとっておくというような子どもを育てていきたいということを校長先生はおっしゃっていましたので、なるほどと、五小あたりは見えない鎖があって、誰かより、能力はあるのだけれども、小さい社会なので、わざと、駆けっこでも1等にならないで2等で取まっているというところが出てくるのです。そういうのも自分で見えない鎖が分かってきたのか、校長先生はそういうこと掲げておりました。

それから、中学校です。

これで、黄色のところ、教職員、生徒ともに学びのアップデートを図るということで、そこにイノベーションタイムの実施と書いてあります。イノベーションタイムって何と言ったら、学担が替わりながらクラスに行つて朝の会をやるということをやっていました。だから、普通、学担というと、例えば佐藤委員さんの教室にずっと私が1年いるわけなんですけど、櫻井委員さんのところに行ったり、小澤委員さんのところに行ったりというようにくるくる学担が替わって、朝、コミュニケーションを図って活性化を図る、あるいは子どもの悩みを吸い取るというようなことで、イノベーションタイムという新しい言葉が出てきましたので、これも興味深いなど、聞いてみていただければと思います。

それから、部活動、ガイドラインに沿った活動。部活動は確かに充実してきていますが、どうも子どもたちに疲れが生じているので、5時半までやったらすぐ帰ると。そして、家に帰って、宿題等も結構たくさんあるので、

そのために早く帰しましょうねということです。

それから、これも面白いのですが、ローテーション道徳。道徳の時間が、私だけではなくていろいろな、今日、1-1は私がやって、また来週になったら1-1の道徳は他の先生がやると、替わるという、道徳。1年間同じ人が道徳をやるのではなくて、いろいろな人が替わっていくというローテーション道徳というので、いろいろな人の考え、先生の考えを聞くとか、生き方を話すとか、そういう形で子どもたちの多感な時代をうまくコントロールしていきたいなという形だと思うんですけどね。

それから、よく褒められるホームページの定期的な更新ということで、いま一つ、松中は最近ピンぼけが多いので、視力検査やって、俺の目が悪いのかなとか思うようになっているピンぼけがあるので、校長先生に言ったら、長い目で見てくださいと言っておりました。そういうことで、人が替わればホームページの視点のつけどころ、目のつけどころが違ってくるのは当然なのですが、本当に、ほかの市町村からも、うちにもこういうようなホームページあるといいのにな、分かりやすいしねということで褒められております。学校によっては毎日600から700件のアクセスがあるというようなことで、いろいろな方が見ていただいて評価していただく形になっています。

あと、意外と学校のほうだけではなくて、いろいろな生涯学習班、公民館とかいろいろなものが出ていますので、ご覧になっていただいて評価していただくといいかなと思います。

ちょっと長くなりましたが意見交換、どうぞいろいろな意見を言っていただいて、校長先生方の考えを聞いていただくと助かるなと思います。

長くなりましたが、私のほうからは今日、教育長報告ということで、先にこれ、お示ししておきますので、よろしく願います。

〔金津主査〕ただいまの教育長からの報告について、質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

教育は数値では測れないってよく言われたりするのですが、私自身は、やはり数値で確認できるところは数値をしっかりと持ってやるということが、やはり非常に重要かなと思っています。そういった意味において、各学校ごとにこういったきちんとした数値目標というのを持ちながら児童生徒を見ていく、健やかな成長につなげていくというのは、とても有効であるというふうに思います。

ホームページのことをお話ししますと、教育長先生もホームページにいろいろアップされている内容が、流行を大切にしつつも、やはり不易の部分をとっても重要視されている内容だなと私自身は感じていて、そういったことが確実に、ここところは昔から大切にされてきたことで、そこを大切にしていきたいと思います。そこを踏まえつつ、今もいろいろな流行とか取り入れなければいけない状況もありますので、そういったことを取り入れていくことなんだろうなと思っています。

松島町が全国学力・学習状況調査でも全国値とほぼ同等のレベルになっているということは、こういった毎回数値目標をきちんと立てて、そして、子どもたち、児童生徒の育成に力を入れているところが功を奏しているというか、そこが有効なんだろうなというふうに考えていますので、30日ですか、次回、校長先生方のお話を楽しみにしています。

以上でございます。

鈴木委員

コミュニティ・スクールの方々の反応というのも非常に、1人だけ運営方針でなく経営方針と書いてある人がいるのだけれども、経営と運営は違うけど、一小だけ学校経営基本にしています。何か意図があるのかどうか分からないけれども。

いろいろ目標、数値目標いいですね。数値目標は、今、佐藤委員おっしゃったように。ただ、この目標に対して、学校が決めるのだからいいだろうというんだけれども、コミュニティ・スクールの方々のこれを見ての反応というものを学校側に入れるっていうのも、これ極めて私重要じゃないのかと思います。例えば、勉強はいいよと、点数もいいよと、目標いいよと、それは、それが目標なのかいと。本当は夢を持つ子ども、小さい子どもはね。そのためには勉強と、ツールですから。いろいろな意見があると思います。コミュニティ・スクールも。そういうのと先生方と意見交換しながら、学校の運営方針というものは、本来、何か決めたいなあという、それが本当に町、町というか、学校の校長先生の考え方は極めて重要ですけども、そういう場というのもあっていいかなあとちょっと思ったりしたところです。だから、コミュニティ・スクールの方々の意見というのも、きっちりと反映するようにしたいかなと思います。意見です。

内海教育長 コミュニティ・スクールの先ほどもお話しした委員さんというのは校長と同格なので、校長がこうしたいと言っても否定されることもあるし、校長がこうしたいと言っていることに対して賛同する場合もあるのだけれども、まだまだ、私たち教育委員会もですが、醸成という意味では、コミュニティ・スクールの人たちについても、こういうことをやったらという大きなアプローチというのはなかなか出てこないところもあります。だから、そういうことをうまく、アドバイスという上から目線になるのですけれども、これからも続けていきたいし、一歩は、コミュニティ・スクールの人たちに、何とかのボランティア、何とかのボランティアで頼んでいたり、それについての回答をしてもらったりしていますので、そういうこともどんどん取り入れています。

あと、前、小学校6年生の卒業式の和服について考えてもらいたいというようなことも投げかけております。ただ、まだ結論は出ていませんけれどもね。あれについても、かなりの高額な金額で、五、六万するのだそうですね。でも、保護者に聞くと、きれいですよねえとか言うし、五、六万、お米も高い、ガソリンも高い時期に五、六万、どうなのかなと。ただ、教育委員会がばっさり切るということでなくて、よくよく検討して、もちろんコミュニティ・スクールだけではなくて、PTAの役員さん、PTAの方からそういうご意見もいただかなければいけないし、あと、もう一つは、中学校の制服なんかいつもやり玉に上がるのです。古臭くて、嫌だという保護者の方々。でも、そんな理由で制服ばっさり切っていいのかなと思うのです。あれだってかなり七、八万するんですよ。何か必然性とかがあれば、どうしてもブレザーでないといけないとかそういうような理由、あと、LGBTQ、ズボンがないと困るとか、そういう理由であつたら変えていかなければならないのですけれども、デザインがとか、ほかの学校と比べると田舎くさいとか言われて、そういうのもあるので、コミュニティ・スクールの皆さんに議論してもらいながら、今はその議論が出てはこないのですけれども、もし出てきたら大いに議論してもらってやっていただくという形。何もかにも教育委員会が判断するということにはなっておりません。

佐藤委員さんがおっしゃったように、いろいろなご意見も、こちらから提案したから、はい、これでおしまいではなくて、中には変わっているのもあるので、そういうのもどんどん取り入れて、柔軟な会にしていきたいなと思います。その点は私も気をつけてやっていきたいと思っています。

以上でございます。

小澤委員 参考までに状況を教えていただければということなのですが、特に小学校の方針でパーセンテージの数値目標を掲げているのですけれども、私の小さいときの記憶をたどると、例えば、上履き袋とか体育の帽子とか、あらゆるものに名前を書くという習慣づけられていると思うのですけれども、このアンケートというのは記名式なのか、無記名なのか。それで、もし無記名の場合は、子ども心に、いろいろなことについては記名で、名前書けと言われていたのに、何でこれは無記名なんだという疑問がないだろうか。そこは説明があるのだろうかという、実情が今どうなっているのか、分かれば教えていただきたいと思います。

永沼教育指導 タブレットでも、打ち込みでアンケートを取っていると思うので。タブレットのほうから拾えます。誰がどういう答えを出しているのか。

専門員

櫻井委員 子どもが、何年か前でですけど、小学校のときの、まだ紙だったので、そのときは記名式でした。多分、だから、タブレットでも、先生は誰が書いたか分かるようになっているのではないかなと思います。

小澤委員 想像するに、子ども心に、基本的には記名に慣れているので、アンケートの記名について、あまり違和感ないと思うのですが、ある程度高校生とか大学生ぐらいになると、記名でいいのかという意見も出てくるかと思えます。そういった場合に、先乗りして小学校で、いや、これは無記名ですとわざわざ言うとなれば、子ども心に、それはどういうふうに教員のほうで説明するのかなということがあったのですが、記名だということなので。

蜂谷教育次長 保護者とかのアンケートも記名式になっているかとは思いますが、その辺も踏まえながら、学校のほうとは相談していきたいと思っています。

兼課長

内海教育長 小澤委員さんが言う記名か無記名でも大分ポイント変わるかもしれないですね。正直なところ。

親御さんについては、責任持って書いてもらうように、誹謗中傷とかです。そして、責任持って書いてもらって、記名で書いてもらった人にはちゃんと回答を出すというような形。そうでな

いと、たがが外れて何もかもいっぱい書いてもらって、先生方が困ってしまうと。あとは個人攻撃みたいなことになってしまう場合もあるので、そういうことは。

ただ、一般に何かするとアンケート取りましようとなるのだけど、ほぼほぼ了解している人はアンケートにあまり参加しないです。不満を持っている人はアンケートによく参加するから、パーセントが、反対のパーセントが上がるということで、だから、あまり安易にアンケートというのはよろしくない。学校に対するものです。子どもが先生に対するアンケートはいいですけど。

校長会があったときに、今度、教頭会あるので、アンケートが無記名なのか記名なのか聞いてみて、パーセントが違う可能性も出てくると思いますので、聞いてみたいと思います。後でご返答いたします。

小澤委員

ちょっと脱線していいですか。

保護者から責任を持って意見をいただくというところでも保護者への懸念ということで、これはもう議事録に載せなくてもいいですし、スルーしていただいてもいいのですが、風の便りで、この松島の中にはモンスターペアレント、要は、よく言われる、かなり強く、子どもを通じて教員にとか、強い態度を取るペアレントさんがいるというような噂があるかどうかということ。そういうことはあまりないですか。

蜂谷教育次長
兼課長

事柄に対して、強く言ってくる保護者の方はいらっしゃいます。制度上決まっているのですが、それを超えて例えば許可してほしいとか、そういった方はいらっしゃいますが、何から何まで言ってくるという方は、今のところは聞いていないです。（「ありがとうございます」の声あり）

佐藤委員

先ほどの無記名・記名の話なのですがすけれども、保護者に関しては、教育長先生おっしゃるように、名前を書いてもらうことによってきちんとご自身が書かれたことにある程度責任を持っていただくという理由がまずあると思います。

それで、子どもたち、児童生徒に関しては、本人に名前書かなくてもいいよと、書かないでという場合もあるかもしれないのですが、大切なことは、一人一人がどんなことを感じているかというのを学校側は当然把握しなければいけないと思うので、押さえる学校側としては、この子はこういうふうに感じているのだなというのをきちんと捉える必要が、ただ単純に集計するという意味ではなく、一人一人の子どもが、どんなことを感じていて、どんなことに悩んでいるかというのを教師側、学校側は把握する必要があるもので、子どもたちには無記名なのかというそのあたりは、いろいろあるにしても、最終的に把握は確実に必要かなと。そのことによってアクションが起こせるということにもなってきますので、そういったところかなというふうに思います。

内海教育長

ご意見いただいたので、十分に検討しながら、子どもたちの考えを拾うということが大切なことだと思います。

(3) 令和7年度松島町学校運営協議会委員の任命について

〔金津主査〕 続けさせていただきます。3番、令和7年度松島町学校運営協議会委員の任命について、学校教育班から報告をお願いいたします。

〔松村班長〕 それでは、資料の10ページをお開き願います。

令和7年度松島町学校運営協議会委員の任命につきまして、各学校から推薦のありました方々の一覧となっております。

任期は1年間となっております、大体の方が再任というふうな形となっております。

以上です。

(4) 松島町奨学金貸与事業運営委員の委嘱について

〔金津主査〕 続きまして、4番、松島町奨学金貸与事業運営委員の委嘱について、こちらも学校教育班から報告をお願いいたします。

〔松村班長〕 それでは、資料の12ページをお開き願います。

松島町奨学金貸与事業運営委員会委員につきまして、今年度、任期替えとなり、新たな任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となります。

令和7年4月1日付で異動してまいりました名簿の5番目の松島高等学校の校長先生以外の方は、全て再任となっております。

以上です。

(5) 松島町公民館分館長の委嘱について

[金津主査] 続きまして、5番、松島町公民館分館長の委嘱について、公民館から報告をお願いします。

[赤間館長] 資料のほうは14ページ、15ページになります。

松島町中央公民館分館長、任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日までとなります。

12地区の分館長、新たな分館長については、記載のとおりとなっております。

分館長会の三役につきましても、記載のとおりとなっております。

今回、初めてではないのですが、女性2名が新たに分館長に就任しております。

以上でございます。

[金津主査] ただいまの報告につきましてご質問等ありますでしょうか。

それでは、続けさせていただきます。

5. 議事

議案第1号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）について

議案第2号 松島町社会教育委員の委嘱（案）について

議案第3号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱（案）について

[金津主査] 続きまして、5番、議事に移ります。

議事は、内海教育長の進行の下、行います。よろしくお願ひいたします。

[内海教育長] それでは、17ページ、議案第1号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明を求めます。

[蜂谷教育次長兼課長] 議案第1号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）について。

このことについて、松島町文化財保護委員会運営等規則第4条の規定により、別紙のとおり提出する。

令和7年7月25日提出。松島町教育委員会教育長内海俊行。

詳細につきましては、担当からご説明申し上げます。

[齋藤班長] 詳細につきまして、議案第1号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）について説明申し上げます。

今回の提案内容は、4月の人事異動に伴って松島高校の校長が替わったことにより、改めて新任校長に対し、規則第4条の規定に基づき、文化財保護委員の委嘱を行いたいと考えております。

資料は18ページをご覧ください。

18ページ、一覧表のNo.6の松島高等学校校長を新たな委員として提案します。

委嘱予定である校長先生は、社会科の教員として地理を専門にしており、文化財に対して大変興味を示している方となります。

なお、委嘱期間につきましては、松島町文化財保護委員会運営等規則第5条第1項の規定に基づき、前任者の在任期間である令和8年4月30日までとして提案します。

以上、松島町文化財保護委員会委員委嘱の提案説明となります。

ご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

[内海教育長] 提案理由の説明を終わります。

質疑に入ります。質疑はございませんか。校長先生だけ替わったということです。よろしいですか。

質疑なしと認めます。質疑を終わります。

それでは、議案第1号について採決をします。本案に賛成の委員は挙手を願います。（挙手全員）

採決の結果、議案第1号については全員賛成で可決されました。ありがとうございます。

案を外してください。

それでは、次に参ります。議案第2号 松島町社会教育委員の委嘱（案）についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明を求めます。

[蜂谷教育次長兼課長] それでは、21ページをご覧くださいと思います。

議案第2号 松島町社会教育委員の委嘱（案）について。

このことについて、松島町社会教育委員の設置に関する条例第2条第2項の規定により、別紙のとおり提出する。

令和7年4月25日提出。松島町教育委員会教育長内海俊行。

詳細につきましては、担当よりご説明申し上げます。

[齋藤班長] 議案第2号 松島町社会教育委員の委嘱（案）について説明申し上げます。

現在の任期が令和7年4月30日をもって2年間の期間が満了となるため、資料22ページの名簿のとおり提案するものであります。

現在の委員につきましては、23ページに参考として名簿を添付しております。

今回提案させていただく委員につきましては、新任7名、再任5名、合計12名の委員を提案させていただきます。

なお、再任されない委員の方々につきましては、個々に諸般の事情があり、再任は難しいというお話をいただいていることを申し添えます。

資料22ページをご覧ください。

新任予定の委員につきましては、松島町社会教育委員の設置に関する条例第2条第2項第1号に規定する学校関係者につきましては、前任の校長2名の定年退職及び人事異動に伴い、一覧表No.1の松島第一小学校校長、No.3の松島高等学校校長の2名を提案するものです。

次に、No.6の方は、第2号に規定する社会教育の関係者、No.7の方、No.8の方、No.10の方、No.11の方の4名につきましては、それぞれにお子様がおられますので、第2号の社会教育の関係者及び3号の家庭教育の向上に資する活動を行う者に該当し、提案するものです。

なお、新たな提案をする委員7名の経歴につきましては、経歴の一部となりますが、一覧表の役職名を参考にさせていただきますようお願いいたします。

また、再任の5名の方々につきましては、これまでの社会教育委員としての実績並びに各分野に精通していることから、引き続きお願いするものであります。

以上、松島町社会教育委員の委嘱（案）の提案となります。

ご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

〔内海教育長〕ありがとうございます。

質疑に入ります。質疑ございませんかと言ってもなかなか難しいので、12分の7が新しくなりましたということで、また、リフレッシュした感じですね。

質疑はなしと認めてよろしいですか。

それでは、議案第2号について採決をします。本案に賛成の委員は挙手をお願いします。（挙手全員）

採決の結果、議案第2号については全員賛成で可決されました。また、社会教育委員、活性化するように頑張ります。

では、次が学校給食です。25ページ、議案第3号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱（案）についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明を求めます。

〔蜂谷教育次長兼課長〕議案第3号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱（案）について。

このことについて、松島町学校給食共同調理場の設置に関する条例第6条第2項により、別紙のとおり提出する。令和7年7月25日提出。松島町教育委員会教育長内海俊行。

詳細につきましては担当より説明申し上げます。

〔越野所長〕議案第3号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱（案）についてでございます。

資料の26ページをご覧ください。

こちらは松島町学校給食共同調理場の設置に関する条例に基づき組織されます審議会となります。

次に、26ページの（案）のほうに記載のとおり、委嘱期間は1年間でありまして、今回は、名簿の1番、第一小学校の校長先生、3番から6番の各学校のPTA会長、こちら5名が新任となります。それ以外の方につきましては、昨年からの再任ということになります。

説明は以上となります。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

〔内海教育長〕こちら10分の5、半分替わったということになりますので、質疑に入ってよろしいですか。質疑ございませんか。

（質疑）

小澤委員 26、27両方ですけど、9番の方の役職名が商工会長会長という、こちらは利府松島商工会はこういう表現をしているのかどうか。

それから、10番、推進委員会は、代表は委員長とは言わず代表という表現になっているのか。非常に単純なお話ですけども、慣習であれば特に異論はありません。

越野所長 9番の商工会長につきましては、誤記でした。正式には、利府松島商工会長となります。

10番につきましては、こちらは農協さんからの推薦で、役職名がこういうふうに、委員会代表

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和7年5月30日

委 員

委 員